

第1章 総則

(目的)

第1条 本校は、学校教育法に基づき、医療従事者、介護福祉士、保育士等として各業界に従事しようとする者に必要な知識、技能を教授し、明日の医療業界や福祉業界、保育業界を担う人材を養成することを目的とする。

(名称)

第2条 本校の名称は、札幌医療秘書福祉専門学校とする。

(位置)

第3条 本校の位置は、札幌市中央区大通西18丁目1-7、1-8と札幌市中央区北1条西18丁目1-42と札幌市中央区大通西17丁目1-15に置く。

第2章 課程、学科、修業年限及び定員並びに休業日等

(課程、学科、修業年限及び定員等)

第4条 本校の課程、学科及び修業年限並びに定員は次のとおりとする。

課程名	学科名	昼夜別	修業年限	入学定員	総定員	備考
商業実務専門課程	医療事務科	昼	1年	60人	60人	単位制
商業実務専門課程	医療秘書科	昼	2年	160人	320人	単位制
商業実務専門課程	診療情報管理士科	昼	3年	40人	120人	単位制
商業実務専門課程	くすりアドバイザー科	昼	2年	40人	80人	単位制
教育社会福祉専門課程	介護福祉科	昼	2年	60人	120人	単位制
教育社会福祉専門課程	医療保育科	昼	3年	40人	120人	単位制
合計				400人	820人	

2. 在籍期間は、修業年限の2倍を超えることはできない。

(学年、学期)

第5条 本校の学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

2. 前項の学年を次の2学期に分ける。

前期 4月1日から9月30日まで

後期 10月1日から翌年3月31日まで

3. 教育上必要があるときは、校長の判断により期間の変更をできるものとする。

(休業日)

第6条 本校の休業日は次のとおりとする。ただし、校長は、特に必要があると認める場合は、休業日を変更することができる。

(1) 土曜日、日曜日

(2) 国民の祝日に関する法律に規定する日

(3) 夏季休業（7月下旬から8月下旬までの約1か月間）

(4) 冬季休業（12月下旬から1月中旬までの約3週間）

(5) 春季休業（3月上旬から4月上旬までの約1か月間）

(6) 学園創立記念日（6月10日）ただし、休業日は6月第1金曜日とする。

2. 教育上必要があり、かつ、やむを得ない事情があるときは、前項の規定にかかわらず、休業日に授業及び実習を行うことがある。

3. 非常変災その他急迫の事情があるときは、臨時に授業を行わないことがある。

第3章 教育課程、授業時数、単位等

(教育課程、授業時数及び単位数)

第7条 本校の教育課程、授業時数及び授業単位数等は、別表1-1, 2, 3, 4, 5, 6のとおりとする。

2. 別表1-1, 2, 3, 4, 5, 6に定める授業時数の1単位時間は50分とする。

3. 各学科の教育課程は1年間で800単位時間以上を設定するものとする。

4. 教育上有益と認める場合は、他学科の授業科目を履修することができるものとする。

5. 各学科にて卒業までに履修させる授業時数及び生徒が1年間に履修する授業科目として登録することができる単位数の上限は別表1-1, 2, 3, 4, 5, 6のとおりとする。

(授業の方法)

第8条 本校における授業は、講義、演習、実技、実習のいずれか、又はこれらの併用により行うものとする。

2. 本校は、文部科学大臣が定めるところにより、授業を多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室以外の場所で履修させることができるものとする。

3. 前項の授業の方法による授業科目の履修は、各学科の全課程の修了に必要な総授業時数のうち4分の3を超えないものとする。

(単位の基準)

第9条 本校の授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを基準とし、授業方法に応じ当該授業による教育効果及び授業時間外に必要な学修等を考慮し、次の基準にて計算するものとする。

(1) 講義及び演習科目については15から30単位時間の授業をもって1単位とする。

(2) 実技及び実習科目については30から45単位時間の授業をもって1単位とする。

(3) 授業科目について、講義、演習、実技、実習のうち2以上の方法の併用により行う場合については、前2号の組み合わせに応じ、学修の内容をもって個別に単位を定めるものとする。

(成績評価)

第10条 授業科目の成績評価は、試験、レポート、履修状況等を総合的に勘案して行う。

2. 前項の成績評価は、出席時数が授業時数の3分の2に達しない者は、その科目について評価を受けることができない。ただし、介護福祉科の介護実習については出席時数が教育課程に定める時間数の5分の4に達しない者は、その科目について評価を受けることができない。

3. 成績不良の科目については、追試験及び再試験を実施できる。追試験及び再試験に関して必要な事項は別に定める。

(入学後の他の教育施設等における授業科目の履修等)

第11条 教育上有益と認めるときは、生徒が行う他の専修学校の専門課程及び高等専門学校における授業科目の履修並びに大学又は短期大学における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、当該専門課程の修了に必要な総単位数の2分の1を超えない範囲で、本校における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができるものとする。

2. 前項の規定は、生徒が本校の承認を受けて、外国の大学又は短期大学に留学する場合に準用する。

(入学前の授業科目の履修等)

第12条 教育上有益と認めるときは、生徒が当該専門課程に入学する前に行った専修学校の専門課程及び高等専門課程における授業科目の履修並びに生徒が当該専門課程に入学する前に行った大学又は短期大学における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本校における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができるものとする。

2. 前項により与えることができる単位数は、前条により与える単位数と合わせて、当該専門課程の修了に必要な総単位数の2分の1を超えないものとする。

(始業、終業)

第13条 本校の始業及び終業の時刻は、9時から17時50分までとする。

2. 前項の規定にかかわらず校長が必要と認めたときは、時刻を変更して授業を行うことがある。

第4章 教職員組織等

(教職員組織)

第14条 本校に次の教職員を置く。

- (1) 校長 1人
- (2) 教員 教員の半数以上は基幹教員とする。

課程	必要教員数	必要基幹教員数
商業実務専門課程	13人以上	7人以上
教育社会福祉専門課程	7人以上	4人以上
合計	20人以上	11人以上

- (3) 事務職員 1人以上

- 2. 校長は校務をつかさどり、所属教職員を監督する。
- 3. その他、校長の職務を助けるため、副校長を置くことができる。副校長は、校長を補佐し、所属教職員を監督する。
- 4. その他、必要に応じて助手を置くことができる。

(学校評価)

- 第15条 本校は、その教育の一層の充実を図り、本校の目的及び社会的使命を達成するため、本校の教育活動その他の学校運営の状況について、自ら点検及び評価（以下「自己評価」という。）を行い、その結果を公表するものとする。
2. 本校は自己評価結果を踏まえ、本校の関係者等による評価（以下「学校関係者評価」という。）を行い、その結果を教育活動等に活用するとともに公表するものとする。
 3. 前2項に定める自己評価及び学校関係者評価の実施並びに結果の公表について必要な事項は、別に定める。

(教育課程編成委員会)

- 第16条 本校の教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。以下同じ。）にあたっては、教育課程編成委員会での審議を通じて示された企業等の要請その他の情報・意見を十分に活かし、実践的かつ専門的な職業教育を実施するにふさわしい教育課程の編成に努めるものとする。

第5章 入学、休学、退学及び卒業等

(入学資格)

- 第17条 本校の入学資格は、次の各号のいずれかに該当する者とする。
- (1) 高等学校若しくはこれに準ずる学校又は中等教育学校を卒業した者
 - (2) 学校教育法第90条第1項に規定する通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む）
 - (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - (4) 文部科学大臣が、高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
 - (5) 修業年限が3年以上の専修学校高等課程を修了した者
 - (6) 文部科学大臣の指定した者
 - (7) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む）
 - (8) 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、本校において、高等学校を卒業した者に準ずる学力があると認められた者
 - (9) 本校において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者に準ずる学力があると認められた者で、18歳に達した者

(入学時期)

第18条 本校の入学時期は、毎年4月とする。

(入学手続き、入学許可)

第19条 本校の入学手続きは、次のとおりとする。

- (1) 本校に入学しようとする者は、本校の定める入学願書に必要事項を記載して第34条に定める入学検定料及び必要書類を添えて指定期日までに出席しなければならない。
- (2) 前号の手続きを終了した者に対して入学選考を行い、合格者を決定する。
- (3) 合格の通知を受けた者は、保証人連署の誓約書・保証書・同意書その他必要な書類に所定期日までに別表2-1に定める入学金を添え、手続きを取らなければならない。
- (4) 校長は、前項の手続きを完了した者に入学を許可する。
- (5) 所定の期日までに入学手続きを取らなかった者は合格を取り消す。

(保証人)

第20条 保証人は、父母又は親族、あるいはこれに準ずる独立の生計を営む者で保証人としての責務を果すことができる者でなければならない。

2. 保証人は、保証する生徒の在学中の行為及び身上について、本人と連帯して一切の責任を負うものとする。

3. 保証人は、学則に定めた保証する生徒の在学中に支払うべき納付金（授業料、施設設備費、教材実習費）の納付について、本人と連帯して支払うことを保証するものとする。

4. 保証人に転居、転籍等があったときは、速やかにその旨を届出なければならない。

5. 保証人がその資格を失ったときは、新たに保証人を選定して届出るとともに、あらためて誓約書・保証書・同意書を提出しなければならない。

(転入学、編入学)

第21条 本校への転入学・編入学を願い出る者があるときは、教育上支障がない限りにおいて、選考の上、校長が許可することができる。

2. 転入学・編入学に関して必要な事項は、別に定める。

(転科)

第22条 本校に在学中の者で転科を希望する者があるときは、教育上支障がない限りにおいて、既に履修した授業科目、単位数等を考慮し、校長が許可することができる。

2. 転科に関して必要な事項は、別に定める。

(休学、復学)

第23条 生徒が疾病、その他やむを得ない事由によって欠席する場合は、学期を単位として保証人連署の届出により、校長の許可を得て休学することができる。

2. 休学は当該年度末までとする。ただし、特別の事情がある場合は、願い出により1か年に限り延長を認めることがある。

3. 休学期間は、第4条に示す修業年限に含めない。

4. 第1項の者が、復学しようとする場合は、校長の許可を受けて学期の始めに限り復学することができる。

5. 休学及び復学に関して必要な事項は、別に定める。

(出席停止)

第24条 校長は、学校保健安全法等に基づき、生徒が感染症にかかり又はその疑いがあるとき、その他必要があると認めるときはその生徒に対して出席停止を命ずることができる。

(退学)

第25条 退学をしようとする者は、その事由を記し、保証人連署の上、校長の許可を受けなければならない。

2. 退学に関して必要な事項は、別に定める。

(除籍)

第26条 校長は、次の各号のいずれかに該当する生徒を除籍することができる。

(1) 正当な理由なく、かつ、所定の手続きを行わず、授業料等を滞納し、その後においても納入の見込みがないと認めた者

(2) 休学期間を超えてなお復学できない者

(3) 入学手続き完了者で、就学意志がない者

(4) 死亡した者又は不明となった者

(単位の認定及び時期)

第27条 授業科目修了の認定は、平素の成績及び試験等による。ただし、実技並びに実習、演習等については平素の成績のみによって認定することができる。

2. 単位認定の時期は学期末又は学年度末とする。

(卒業の認定及び時期)

第28条 本校に修業年限以上在学し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に、卒業の認定を行う。

2. 前項に定める所定の単位は、卒業要件として以下のとおりとする。

(1) 卒業要件単位数は、31単位に当該学科の修業年限相当数を乗じた単位数以上とする。

(2) 卒業に必要な要件については、別表1-1, 2, 3, 4, 5, 6のとおりとする。

3. 課程を修了したと認められた者には、別表3様式の卒業証書を授与する。

4. 卒業の時期は、3月又は9月とする。

5. 修業年限以上在学し、卒業要件を満たすことができないものは卒業延期者とする。

(称号の授与)

第29条 第28条により課程を修了した者には、次のとおり専門士の称号を授与する。

学科名	専門士の称号	告示
医療秘書科	商業実務専門課程	平成8年12月4日告示
診療情報管理士科	商業実務専門課程	平成21年2月27日告示
くすりアドバイザー科	商業実務専門課程	平成22年11月29日告示
介護福祉科	教育社会福祉専門課程	平成9年11月17日告示
医療保育科	教育社会福祉専門課程	平成17年12月26日告示

第6章 科目等履修生、聴講生

(科目等履修生)

第30条 本校において開設する授業科目に対し、本校生徒以外の者から特定の科目について履修申請があった場合には、本校の教育に支障がない限りにおいて、選考の上、科目等履修生として当該科目の履修を許可し、単位を与えることができる。

2. 科目等履修生に関し必要な事項は別に定める。

(聴講生)

第31条 授業の聴講を志願する者がある場合は、本校の教育に支障がない限り、これを許可することができる。

2. 聴講生に関し必要な事項は別に定める。

第7章 賞罰

(褒賞)

第32条 成績優秀な者、又は他の模範となる行為があった者は、校長が褒賞することができる。

(懲戒)

第33条 生徒が本校の学則、その他本校の定める諸規則を守らず、その本分を逸脱する行為があり教育上必要と認められる場合には、生徒に対し懲戒を加えることができる。

2. 懲戒のうち、退学、停学及び訓告の処分は、校長が行うものとする。

3. 前項の退学は次の各号の一に該当する者に対して行うものとする。

(1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者

(2) 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者

(3) 正当な理由がなくて、出席が常でない者

(4) 学校の秩序を乱し、その他生徒としての本分に反した者

第8章 納付金、その他

(納付金)

第34条 本校の入学検定料、入学金、授業料等の納付金は別表2-1, 2, 3のとおりとする。

(納入及び納入の特例)

第35条 生徒がその在籍中は、出席の有無にかかわらず、授業料等納付金を所定の期日までに納入しなければならない。

2. 生徒は休学又は停学中であっても、授業料等納付金は納入しなければならない。ただし、休学を許可された者又は休学を命じられた者が、別に定めるところにより願い出た場合は、その期間に応じ、授業料等の全部又は一部を免除することがある。

3. 特別の理由のある場合には、別に定めるところにより、授業料の全部又は一部を減免することがある。

4. 別表2-1, 2, 3のほか、実習費等の修学に関する費用を徴収する。

(納付金の還付)

第36条 既に納入した授業料、入学金、入学検定料及びその他の学費は、原則としてこれを返還しない。ただし、入学前に入学辞退の意思表示をした場合は、入学金と入学検定料を除いた授業料等は返還する。

(退学者等の納付金納付義務)

第37条 退学した者又は除籍処分となった者若しくは退学処分を受けた者も、当該学期分の授業料等納付金は納付しなければならない。

(健康管理)

第38条 健康診断は、学校保健安全法の定めるところにより、毎年1回実施する。
2. 健康診断、その他健康管理については別に定める。

第9章 雑則

(改定)

第39条 本学則は、改定することができる。
2. 学則改定内容は、本校のホームページに掲載する方法により周知する。

(施行細則)

第40条 この学則の施行に関し必要な事項は、校長が別に定める。

附則

1. この学則は、昭和63年4月1日から施行する。
 2. この学則は、平成2年4月1日から施行する。
 3. この学則は、平成4年4月1日から施行する。
 4. この学則は、平成5年4月1日から施行する。
 5. この学則は、平成6年4月1日から施行する。
 6. この学則は、平成7年4月1日から施行する。
 7. この学則は、平成8年4月1日から施行する。
 8. この学則は、平成9年4月1日から施行する。
 9. この学則は、平成11年4月1日から施行する。
 10. この学則は、平成12年4月1日から施行する。
 11. この学則は、平成14年4月1日から施行する。
 12. この学則は、平成15年4月1日から施行する。
 13. この学則は、平成16年4月1日から施行する。
 14. この学則は、平成17年4月1日から施行する。
 15. この学則は、平成18年4月1日から施行する。
 16. この学則は、平成19年4月1日から施行する。
 17. この学則は、平成20年4月1日から施行する。
 18. この学則は、平成21年4月1日から施行する。
 19. この学則は、平成22年4月1日から施行する。
- ただし平成22年3月31日以前に入学した者は従前のものとする

20. この学則は、平成23年4月1日から施行する。
ただし平成23年3月31日以前に入学した者は従前のものとする
21. この学則は、平成25年4月1日から施行する。
ただし平成25年3月31日以前に入学した者は従前のものとする
22. この学則は、平成26年4月1日から施行する。
ただし平成26年3月31日以前に入学した者は従前のものとする
23. この学則は、平成27年4月1日から施行する。
ただし平成27年3月31日以前に入学した者は従前のものとするまた、
第21条第1項に関しては平成28年度入学生より施行する
24. この学則は、平成28年4月1日から施行する。
ただし平成28年3月31日以前に入学した者は従前のものとする
25. この学則は、平成29年4月1日から施行する。
ただし平成29年3月31日以前に入学した者は従前のものと
するまた、別表1カリキュラム診療情報管理士科に関しては
平成28年度入学生により施行する

附則（平成31年4月1日一部改正）

この学則は、平成31年4月1日より施行する。ただし、第7条（教育課程、授業時数及び単位数）第22条（休学、復学）第27条（卒業の認定及び時期）第2項については、平成31年3月31日以前に入学した者にあつては、なお従前の例による。

附則 この学則は、令和2年4月1日より施行する。（納付金、介護福祉科教育課程変更）

附則 この学則は、令和3年4月1日より施行する。（介護福祉科教育課程変更、医療事務科・医療秘書科・診療情報管理士科・くすりアドバイザー科・医療保育科教育課程変更、医療秘書科定員変更、歯科アシスタント科廃科）

附則 この学則は、令和4年4月1日より施行する。（医療事務科・医療秘書科・診療情報管理士科・くすりアドバイザー科・医療保育科教育課程変更、校長変更）

附則 この学則は、令和5年4月1日から施行する。（医療秘書科教育課程変更）ただし、第7条（教育課程、授業時数及び単位数）については令和5年3月31日以前に入学した者にあつては、なお従前の例による。

附則 この学則は、令和6年4月1日より施行する。（教職員組織変更、納付金の変更）ただし、第34条（納付金）については、令和6年度入学生については、別表2-1-1とし、令和7年度入学生については、別表2-1-2とする。

別表1 -1 教育課程（カリキュラム）
 学校名 札幌医療秘書福祉専門学校
 学科 医療事務科
 該当 2022年度入学生より

科目名	授業形態	必修選択	1年次		合計	
			単位数	単位時間数	単位数	単位時間数
医療事務A I	演習	必修	2	60	2	60
医療事務A II	演習	選択	1	30	1	30
医療事務B I	演習	必修	3	90	3	90
医療事務B II	演習	選択	1	30	1	30
介護・調剤事務	講義	選択	3	45	3	45
医学一般 I	講義	必修	2	30	2	30
医学一般 II	講義	選択	2	30	2	30
医事CP基礎・電子カルテ I	演習	選択	1	30	1	30
医事CP基礎・電子カルテ II	演習	選択	1	30	1	30
歯科事務	講義	選択	3	45	3	45
医療秘書総論 I	講義	選択	1	15	1	15
医療秘書総論 II	講義	選択	1	15	1	15
医事業務実践ベーシックA I	講義	選択	1	15	1	15
医事業務実践ベーシックA II	講義	選択	1	15	1	15
医事業務実践ベーシックB I	講義	選択	1	15	1	15
医事業務実践ベーシックB II	講義	選択	1	15	1	15
医事業務実践C	講義	選択	1	15	1	15
未来デザインプログラム I	講義	選択	1	15	1	15
未来デザインプログラム II	講義	選択	1	15	1	15
ペン字 I	演習	選択	1	30	1	30
ペン字 II	講義	選択	1	15	1	15
パソコン実践 I	演習	選択	1	30	1	30
パソコン実践 II	演習	選択	1	30	1	30
ビジネススキル I	講義	選択	3	45	3	45
ビジネススキル II	講義	選択	1	15	1	15
プレゼンテーション学	講義	選択	1	15	1	15
就職指導 I	演習	選択	1	30	1	30
就職指導 II	講義	選択	1	15	1	15
アビリティUP I	講義	選択	1	15	1	15
医療事務診療科別研修	講義	選択	1	15	1	15
合計			41	810	41	810

※医療事務科の生徒が1年間に履修できる単位は、41単位までとする。

※卒業要件：31単位以上

別表1-2 教育課程（カリキュラム）
 学校名 札幌医療秘書福祉専門学校
 学科 医療秘書科
 該当 2023年度入学生より

科目名	授業形態	必修選択	1年次		2年次		合計	
			単位数	単位時間数	単位数	単位時間数	単位数	単位時間数
ビジネスマナーⅠ	演習	選択	1	30			1	30
ビジネスマナーⅡ	演習	選択	1	30			1	30
ペン字Ⅰ	演習	選択	1	30			1	30
ペン字Ⅱ	講義	選択	1	15			1	15
パソコン演習Ⅰ	演習	選択	1	30			1	30
パソコン演習Ⅱ	演習	選択	1	30			1	30
プレゼンテーション実践Ⅰ	講義	選択	1	15			1	15
プレゼンテーション実践Ⅱ	講義	選択	1	15			1	15
未来デザインプログラムⅠ	講義	選択	1	15			1	15
未来デザインプログラムⅡ	講義	選択	1	15			1	15
就職対策Ⅰ	講義	選択	1	15			1	15
就職対策Ⅱ	演習	必修			1	15	1	15
基礎看護学Ⅰ	講義	選択	4	60			4	60
基礎看護学Ⅱ	講義	選択	2	30			2	30
疾患学Ⅰ	講義	選択	2	30			2	30
医療秘書概論Ⅰ	講義	選択	2	30			2	30
医療秘書概論Ⅱ	講義	選択	2	30			2	30
医事C.P・電子カルテ基礎	演習	選択	1	30			1	30
医事業務実践ベーシックAⅠ	講義	選択	1	15			1	15
医事業務実践ベーシックAⅡ	講義	選択	1	15			1	15
医事業務実践ベーシックBⅠ	講義	選択	1	15			1	15
医事業務実践ベーシックBⅡ	講義	選択	1	15			1	15
医事業務実践ベーシックC	講義	選択	1	15			1	15
医科医療事務AⅠ	演習	必修	2	60			2	60
医科医療事務BⅠ	演習	必修	2	60			2	60
医科医療事務AⅡ	演習	必修	2	60			2	60
医科医療事務BⅡ	演習	必修	2	60			2	60
医療機関実習Ⅰ	実習	選択	1	40			1	40
疾患学Ⅱ	講義	選択			2	30	2	30
疾患学Ⅲ	講義	選択			2	30	2	30
看護学Ⅰ	講義	選択			1	15	1	15
看護学Ⅱ	講義	選択			1	15	1	15
リスクマネジメントⅠ	講義	選択			1	15	1	15
リスクマネジメントⅡ	講義	選択			1	15	1	15
医科医療事務Ⅲ	演習	必修	1	30			1	30
医科医療事務Ⅳ	講義	選択	1	15			1	15
レセプトチェック実践Ⅰ	講義	必修	1	15			1	15
レセプトチェック実践Ⅱ	講義	選択	1	15			1	15
医事CP・電子カルテ応用Ⅰ	演習	選択	1	30			1	30
医事CP・電子カルテ応用Ⅱ	講義	選択	1	15			1	15
病院管理と社会保険Ⅰ	講義	選択	1	15			1	15
病院管理と社会保険Ⅱ	講義	選択	1	15			1	15
介護事務Ⅰ	講義	選択	1	15			1	15
介護事務Ⅱ	講義	選択	1	15			1	15
手話	演習	選択	1	30			1	30
歯科医療事務	演習	選択	1	30			1	30
医事業務実践アドバンスAⅠ	講義	選択	1	15			1	15
医事業務実践アドバンスAⅡ	講義	選択	1	15			1	15
医事業務実践アドバンスBⅠ	講義	選択	1	15			1	15
医事業務実践アドバンスBⅡ	講義	選択	1	15			1	15
医事業務実践アドバンスCⅠ	講義	選択	1	15			1	15
医事業務実践アドバンスCⅡ	講義	選択	1	15			1	15
医療機関実習Ⅱ	実習	選択	3	120			3	120
接遇外国語A	講義	選択	1	15			1	15
接遇外国語B	講義	選択	1	15			1	15
筆記試験対策	講義	選択	1	15			1	15
心理学	講義	選択	1	15			1	15
医療秘書診療科別研修	講義	選択	1	15			1	15
アビリティUPⅠ	講義	選択	1	15			1	15
アビリティUPⅡ	講義	選択	1	15			1	15
医療事務ゼミナールⅠ	演習	選択			2	60	2	60
医療事務ゼミナールⅡ	演習	選択			2	45	2	45
医事CP応用Ⅰ	講義	選択	1	15			1	15
医事CP応用Ⅱ	演習	選択	1	30			1	30
ホスピタルコンシェルジュⅠ	演習	選択	1	15			1	15
ホスピタルコンシェルジュⅡ	演習	選択	1	15			1	15
看護補助実習Ⅰ	演習	選択	1	30			1	30
看護補助実習Ⅱ	演習	選択	1	30			1	30
メディカルクラーク実務Ⅰ	講義	選択	1	15			1	15
メディカルクラーク実務Ⅱ	演習	選択	1	30			1	30
地域医療概論Ⅰ	講義	選択	2	30			2	30
地域医療概論Ⅱ	講義	選択	1	15			1	15
看護クラーク概論Ⅰ	講義	選択	1	15			1	15
看護クラーク概論Ⅱ	講義	選択	1	15			1	15
小児発達Ⅰ	演習	選択	1	30			1	30
小児発達Ⅱ	演習	選択	1	30			1	30
小児の食と栄養Ⅰ	講義	選択	1	15			1	15
小児の食と栄養Ⅱ	講義	選択	1	15			1	15
小児の基本Ⅰ	講義	選択	2	30			2	30
小児の基本Ⅱ	講義	選択	2	30			2	30
子どもの心理学Ⅰ	講義	選択	1	15			1	15
子どもの心理学Ⅱ	講義	選択	1	15			1	15
マナーホスピタリティⅠ	演習	選択	1	30			1	30
マナーホスピタリティⅡ	演習	選択	1	30			1	30
ビジネス文書実務Ⅰ	講義	選択	1	15			1	15
ビジネス文書実務Ⅱ	講義	選択	1	15			1	15
メディカルホスピタリティ実践Ⅰ	演習	選択	1	30			1	30
メディカルホスピタリティ実践Ⅱ	演習	選択	1	30			1	30
コミュニケーション技法Ⅰ	講義	選択	1	15			1	15
コミュニケーション技法Ⅱ	講義	選択	1	15			1	15
ドクタークラークマネジメントⅠ	演習	選択	1	45			1	45
ドクタークラークマネジメントⅡ	演習	選択	1	45			1	45
ドクターサポートⅠ	講義	選択	3	45			3	45
ドクターサポートⅡ	講義	選択	3	45			3	45
IT基礎Ⅰ	演習	選択	2	60			2	60
IT基礎Ⅱ	演習	選択	2	60			2	60
パソコン特講演習Ⅰ	演習	選択	1	30			1	30
パソコン特講演習Ⅱ	演習	選択	1	30			1	30
美容医療概論Ⅰ	講義	選択	1	15			1	15
美容医療概論Ⅱ	講義	選択	1	15			1	15
美容カウンセリング実践Ⅰ	演習	選択	1	30			1	30
美容カウンセリング実践Ⅱ	演習	選択	1	30			1	30
トータルビューティークnowledgeⅠ	講義	選択	1	15			1	15
トータルビューティークnowledgeⅡ	講義	選択	1	15			1	15
トータルビューティーク実践Ⅰ	演習	選択	1	30			1	30
トータルビューティーク実践Ⅱ	演習	選択	1	30			1	30
合計			40	835	92	1920	132	2755

※医療秘書科の生徒が1年間に履修できる単位は、45単位までとする。
 ※卒業要件：62単位以上

別表1 -3 教育課程 (カリキュラム)
 学校名 札幌医療秘書福祉専門学校
 学科 診療情報管理士科
 該当 2022年度入学生より

科目名	授業形態	必修選択	1年次		2年次		3年次		合計	
			単位数	単位時間数	単位数	単位時間数	単位数	単位時間数	単位数	単位時間数
基礎看護学 I	講義	選択	4	60					4	60
基礎看護学 II	講義	選択	2	30					2	30
基礎看護学 III	講義	選択	1	15					1	15
疾患学 I	講義	選択	2	30					2	30
ビジネスマナー I	演習	選択	1	30					1	30
ビジネスマナー II	演習	選択	1	30					1	30
医事CP・電子カルテ基礎 I	演習	選択	1	30					1	30
医事CP・電子カルテ基礎 II	演習	選択	1	30					1	30
医科医療事務A I	演習	必修	2	60					2	60
医科医療事務B I	演習	必修	2	60					2	60
医科医療事務A II	演習	必修	2	60					2	60
医科医療事務B II	演習	必修	2	60					2	60
医療秘書概論 I	講義	選択	2	30					2	30
医療秘書概論 II	講義	選択	2	30					2	30
ペン字 I	演習	選択	1	30					1	30
ペン字 II	講義	選択	1	15					1	15
パソコン実務 I	演習	選択	1	30					1	30
パソコン実務 II	演習	選択	1	30					1	30
未来デザインプログラム I	講義	選択	1	15					1	15
未来デザインプログラム II	講義	選択	1	15					1	15
医事業務実践ベーシックA I	講義	選択	1	15					1	15
医事業務実践ベーシックA II	講義	選択	1	15					1	15
医事業務実践ベーシックB I	講義	選択	1	15					1	15
医事業務実践ベーシックB II	講義	選択	1	15					1	15
医事業務実践ベーシックC	講義	選択	1	15					1	15
診療情報管理基礎	講義	選択	1	15					1	15
診療情報管理 I	講義	選択	1	18					1	18
医療概論	講義	選択	1	18					1	18
医療管理各論 I	演習	選択	1	30					1	30
業界理解A I	講義	選択	1	15					1	15
業界理解B I	講義	選択	1	15					1	15
臨床医学総論	講義	選択			1	18			1	18
臨床医学各論 I	講義	選択			1	18			1	18
臨床医学各論 II	講義	選択			1	18			1	18
臨床医学各論 III	講義	選択			1	18			1	18
臨床医学各論 IV	講義	選択			1	18			1	18
臨床医学各論 V	講義	選択			1	18			1	18
臨床医学各論 VI	講義	選択			1	18			1	18
臨床医学各論 VII	講義	選択			1	18			1	18
臨床医学各論 VIII	講義	選択			1	18			1	18
医療管理総論	講義	選択			1	18			1	18
医療管理各論 II	講義	選択			1	18			1	18
医療管理各論 III	講義	選択			1	18			1	18
保健医療情報学	講義	選択			1	18			1	18
医療統計 I	演習	選択			1	30			1	30
国際統計分類 I	講義	選択			1	18			1	18
国際統計分類 II	講義	選択			1	18			1	18
診療情報管理 II	講義	選択			1	18			1	18
診療情報管理 III	講義	選択			1	18			1	18
診療情報管理士対策 I	演習	選択			1	30			1	30
診療情報管理士対策 II	演習	選択			1	30			1	30
基礎看護学 IV	講義	選択			1	15			1	15
医科医療事務演習 I	演習	必修			1	30			1	30
医科医療事務演習 II	演習	必修			1	30			1	30
医事CP・電子カルテ応用 I	演習	選択			1	30			1	30
医事CP・電子カルテ応用 II	演習	選択			1	30			1	30
パソコン実務 III	演習	選択			1	30			1	30
パソコン実務 IV	演習	選択			1	30			1	30
プレゼンテーション技法 I	演習	選択			1	30			1	30
プレゼンテーション技法 II	講義	選択			1	15			1	15
医療秘書検定対策	講義	選択			1	15			1	15
医療秘書検定特講 I	演習	選択			1	30			1	30
医療秘書検定特講 II	演習	選択			1	30			1	30
医療事務研究特講 I	演習	選択			1	30			1	30
医療事務研究特講 II	演習	選択			1	30			1	30
がん登録実務対策	演習	選択			1	30			1	30
DPC実践	講義	選択			1	15			1	15
業界理解A II	講義	選択			1	15			1	15
業界理解B II	講義	選択			1	15			1	15
診療情報管理士病院実習 I	実習	必修			1	40			1	40
診療情報管理士病院実習 II	実習	選択			2	80			2	80
人体構造・機能論	講義	選択					1	18	1	18
医学・医療用語	講義	選択					1	18	1	18
医療統計 II	講義	選択					1	18	1	18
診療情報管理士受験対策ゼミA-I	演習	選択			1	30			1	30
診療情報管理士受験対策ゼミA-II	講義	選択			3	45			3	45
診療情報管理士受験対策ゼミA-III	演習	選択			2	60			2	60
診療情報管理士受験対策ゼミA-IV	演習	選択			2	60			2	60
診療情報管理士受験対策ゼミB-I	演習	選択			1	30			1	30
診療情報管理士受験対策ゼミB-II	講義	選択			3	45			3	45
診療情報管理士受験対策ゼミB-III	演習	選択			2	60			2	60
診療情報管理士受験対策ゼミB-IV	演習	選択			2	60			2	60
診療情報管理士受験対策ゼミC-I	演習	選択			1	30			1	30
診療情報管理士受験対策ゼミC-II	演習	選択			2	60			2	60
パソコン実務 V	演習	選択			1	30			1	30
パソコン実務 VI	演習	選択			1	30			1	30
医科医療事務演習 III	演習	必修			1	30			1	30
D/クラーク演習	演習	選択			1	30			1	30
施設基準管理	講義	選択			1	15			1	15
業界理解A III	講義	選択			1	15			1	15
業界理解B III	講義	選択			1	15			1	15
メディカルマネジメント論 I	演習	選択			1	30			1	30
メディカルマネジメント論 II	講義	選択			1	15			1	15
経営戦略基礎 I	演習	選択			1	30			1	30
経営戦略基礎 II	講義	選択			1	15			1	15
医療IT A I	演習	選択			1	30			1	30
医療IT A II	講義	選択			1	15			1	15
医療IT B I	演習	選択			1	30			1	30
医療IT B II	講義	選択			1	15			1	15
合計			42	876	41	966	37	879	120	2721

※診療情報管理士科の生徒が1年間に履修できる単位は、45単位までとする。
 卒業要件: 93単位以上

別表1-4 教育課程 (カリキュラム)
 学校名 札幌医療秘書福祉専門学校
 学科 くすりアドバイザー科
 該当 2022年度入学生より

科目名	授業形態	必修選択	1年次		2年次		合計	
			単位数	単位時間数	単位数	単位時間数	単位数	単位時間数
就職活動対策Ⅰ	講義	選択	1	15			1	15
就職活動対策Ⅱ	講義	選択	1	15			1	15
インターンシップ実習Ⅰ	実習	選択	5	200			5	200
パソコン基礎Ⅰ	演習	選択	1	30			1	30
パソコン基礎Ⅱ	演習	選択	1	30			1	30
接客スキルⅠ	講義	選択	2	30			2	30
接客スキルⅡ	演習	選択	1	30			1	30
未来デザインプログラムⅠ	講義	選択	1	15			1	15
未来デザインプログラムⅡ	講義	選択	1	15			1	15
プレゼンテーションⅠ	講義	選択	1	15			1	15
プレゼンテーションⅡ	講義	選択	1	15			1	15
薬理学Ⅰ	講義	必修	2	30			2	30
薬理学Ⅱ	講義	必修	2	30			2	30
基礎医薬品Ⅰ	講義	選択	2	30			2	30
基礎医薬品Ⅱ	講義	選択	2	30			2	30
生薬・漢方学Ⅰ	講義	選択	2	30			2	30
生薬・漢方学Ⅱ	講義	選択	2	30			2	30
薬事関係法規・制度Ⅰ	講義	選択	1	15			1	15
薬事関係法規・制度Ⅱ	講義	選択	2	30			2	30
解剖生理学Ⅰ	講義	選択	2	30			2	30
解剖生理学Ⅱ	講義	選択	2	30			2	30
調剤薬局事務Ⅰ	演習	選択	1	30			1	30
調剤薬局事務Ⅱ	演習	選択	1	30			1	30
調剤薬局概論	講義	選択	2	30			2	30
ビューティーケア	講義	選択	2	30			2	30
インターンシップ実習Ⅱ	実習	選択			4	160	4	160
就職活動対策Ⅲ	講義	選択			1	15	1	15
就職活動対策Ⅳ	講義	選択			1	15	1	15
パソコン応用Ⅰ	演習	選択			1	30	1	30
パソコン応用Ⅱ	演習	選択			1	30	1	30
資格試験対策Ⅰ	講義	必修			5	75	5	75
資格試験対策Ⅱ	講義	必修			5	75	5	75
健康食品・サプリメント知識Ⅰ	講義	選択			2	30	2	30
健康食品・サプリメント知識Ⅱ	講義	選択			2	30	2	30
栄養学Ⅰ	講義	選択			1	15	1	15
栄養学Ⅱ	講義	選択			1	15	1	15
医療品の安全対策と副作用	講義	選択			2	30	2	30
公衆衛生学Ⅰ	講義	選択			1	15	1	15
公衆衛生学Ⅱ	講義	選択			1	15	1	15
くすりと疾患Ⅰ	講義	選択			1	15	1	15
くすりと疾患Ⅱ	講義	選択			1	15	1	15
POP&ディスプレイ	演習	選択			1	30	1	30
シミュレーション販売	演習	必修			2	60	2	60
トータルビューティーⅠ	講義	選択			2	30	2	30
トータルビューティーⅡ	講義	選択			3	45	3	45
ヘルス&ビューティー	演習	選択			1	30	1	30
医療用医薬品Ⅰ	講義	選択			2	30	2	30
医療用医薬品Ⅱ	講義	選択			2	30	2	30
調剤薬局演習	演習	選択			1	30	1	30
こどもと薬	講義	選択			1	15	1	15
接遇外国語Ⅰ	講義	選択			1	15	1	15
接遇外国語Ⅱ	講義	選択			1	15	1	15
合計			41	815	47	910	88	1725

※くすりアドバイザー科の生徒が1年間に履修できる単位は、41単位までとする。

※卒業要件:62単位以上

別表1-5 教育課程(カリキュラム)
 学校名 札幌医療秘書福祉専門学校
 学科 介護福祉科
 該当 2021年度入学生より

領域	教育内容	指定規則時間数	科目名	授業形態	必修選択	1年次		2年次		合計		
						単位数	単位時間数	単位数	単位時間数	単位数	単位時間数	
人間と社会	人間の理解	人間の尊厳と自立	人間の尊厳と自立	講義	必修	1	30			1	30	
		人間関係とコミュニケーション	人間関係とコミュニケーション I	人間関係とコミュニケーション I	講義	必修	1	30			1	30
	人間関係とコミュニケーション II		人間関係とコミュニケーション II	講義	必修			1	30	1	30	
	社会の理解	社会の理解	社会の理解	講義	必修			2	60	2	60	
	組織体の在り方、対人関係の在り方、リーダーシップの在り方についての学習		30	未来デザインプログラム	講義	必修	1	30		1	30	
	現代社会の基礎的問題を理解し、社会をみつめる感性や現代を生きる人間としての生き方について考える力を養う	選択必修 60	総合福祉 I	総合福祉 I	講義	選択必修	1	30			1	30
			総合福祉 II	総合福祉 II	講義	選択必修			1	30	1	30
			スポーツ福祉 I	スポーツ福祉 I	演習	選択必修	1	30			1	30
			スポーツ福祉 II	スポーツ福祉 II	演習	選択必修			1	30	1	30
			福祉カウンセリング I	福祉カウンセリング I	講義	選択必修	1	30			1	30
福祉カウンセリング II			福祉カウンセリング II	講義	選択必修			1	30	1	30	
介護	介護の基本	180	介護の基本 I	講義	必修	4	120			4	120	
			介護の基本 II	講義	必修			2	60	2	60	
	コミュニケーション技術	60	コミュニケーション技術 I	講義	必修	1	30			1	30	
			コミュニケーション技術 II	講義	必修			1	30	1	30	
	生活支援技術	300	生活支援技術 I	演習	必修	6	180			6	180	
			生活支援技術 II	演習	必修			4	120	4	120	
	介護過程	150	介護過程 I	講義	必修	3	90			3	90	
			介護過程 II	講義	必修			2	60	2	60	
	介護総合演習	120	介護総合演習 I	講義	必修	2	60			2	60	
			介護総合演習 II	講義	必修			2	60	2	60	
介護実習	450	介護実習 I A	介護実習 I A	実習	必修	1	30			1	30	
		介護実習 II A	介護実習 II A	実習	必修	2	70			2	70	
		介護実習 II B	介護実習 II B	実習	必修	4	120			4	120	
		介護実習 II C	介護実習 II C	実習	必修			5	160	5	160	
このころからのしくみ	120	このころからのしくみ I	このころからのしくみ I	講義	必修	2	60			2	60	
		このころからのしくみ II	このころからのしくみ II	講義	必修	2	60			2	60	
		発達と老化の理解	発達と老化の理解	講義	必修			2	60	2	60	
		認知症の理解	認知症の理解	講義	必修	2	60			2	60	
医療的ケア	50 (実時間)	医療的ケア I	医療的ケア I	講義	必修	1	15			1	15	
		医療的ケア II	医療的ケア II	講義	必修			3	48	3	48	
		医療的ケア III	医療的ケア III	演習	必修			1	15	1	15	
		教科以外の教育活動 I (HR)	教科以外の教育活動 I (HR)					30			30	
			教科以外の教育活動 II (HR)					30		30		
合計		1850	合計			37	1135	33	983	70	2118	

※介護福祉科の生徒が1年間に履修できる単位は39単位までとする。

※選択必修科目については、総合福祉 I 及び II、スポーツ福祉 I 及び II、福祉カウンセリング I 及び II 又は国際理解 I 及び II より2単位を修得するものとする。

別表1-6 教育課程(カリキュラム)
 学校名 札幌医療秘書福祉専門学校
 学科 医療保育科
 該当 2022年度入学生より

科目名	授業形態	必修選択	1年次		2年次		3年次		合計	
			単位数	単位時間数	単位数	単位時間数	単位数	単位時間数	単位数	単位時間数
英語ⅠA	講義	選択	1	15					1	15
英語ⅠB	講義	選択	1	15					1	15
保育原理A	講義	選択	1	15					1	15
保育原理B	講義	選択	1	15					1	15
保育者論A	講義	必修	1	15					1	15
保育者論B	講義	必修	1	15					1	15
保育の心理学ⅠA	講義	選択	1	15					1	15
保育の心理学ⅠB	講義	選択	1	15					1	15
社会福祉A	講義	選択	1	15					1	15
社会福祉B	講義	選択	1	15					1	15
子ども家庭福祉A	講義	選択	1	15					1	15
子ども家庭福祉B	講義	選択	1	15					1	15
乳児保育ⅠA	講義	選択	1	15					1	15
乳児保育ⅠB	講義	選択	1	15					1	15
教育原理	講義	選択	1	15					1	15
教育制度論	講義	選択	1	15					1	15
人間関係	講義	選択	1	15					1	15
環境	講義	選択	1	15					1	15
子どもの造形表現A	演習	選択	1	30					1	30
子どもの造形表現B	演習	選択	1	30					1	30
音楽理論	講義	選択	1	15					1	15
子どものうた	演習	選択	1	15					1	15
子どもの音楽ⅠA	実技	選択	1	30					1	30
子どもの音楽ⅠB	実技	選択	1	30					1	30
子どものリトミックA	実技	選択	1	30					1	30
子どものリトミックB	実技	選択	1	30					1	30
子どもの運動支援	実技	選択	1	30					1	30
手遊び	実技	選択	1	30					1	30
実習対策ⅠA	講義	選択	1	15					1	15
実習対策ⅠB	講義	選択	1	15					1	15
ペン字A	講義	選択	1	15					1	15
ペン字B	講義	選択	1	15					1	15
保育PCデザインA	演習	選択	1	15					1	15
保育PCデザインB	演習	選択	1	15					1	15
子どもの体のしくみA	講義	選択	1	15					1	15
子どもの体のしくみB	講義	選択	1	15					1	15
未来デザインプログラムⅠ	講義	選択	1	15					1	15
未来デザインプログラムⅡ	講義	選択	1	15					1	15
キャリアゼミナールⅠA	講義	選択	2	30					2	30
キャリアゼミナールⅠB	講義	選択	2	30					2	30
教養講座	講義	選択	1	15					1	15
未来の先生プロジェクト	実技	選択	1	45					1	45
子どもの保健A	講義	選択			1	15			1	15
子どもの保健B	講義	選択			1	15			1	15
子ども家庭支援の心理学A	講義	選択			1	15			1	15
子ども家庭支援の心理学B	講義	選択			1	15			1	15
社会的養護ⅠA	講義	選択			1	15			1	15
社会的養護ⅠB	講義	選択			1	15			1	15
保育カリキュラム論A	講義	必修			1	15			1	15
保育カリキュラム論B	講義	必修			1	15			1	15
教育の方法と技術A	講義	選択			1	15			1	15
教育の方法と技術B	講義	選択			1	15			1	15
子どもの食と栄養ⅠA	講義	選択			1	15			1	15
子どもの食と栄養ⅠB	講義	選択			1	15			1	15
健康	講義	選択			1	15			1	15
健康・健康スポーツ	講義	必修			1	15			1	15
教育相談	講義	選択			1	15			1	15
子どもの製作	演習	選択			1	15			1	15
障害児保育A	講義	選択			1	15			1	15
障害児保育B	講義	選択			1	15			1	15
子どもの音楽ⅡA	実技	選択			1	30			1	30
子どもの音楽ⅡB	実技	選択			1	30			1	30
運動あそび	実技	選択			1	30			1	30
実習対策ⅡA	演習	選択			2	30			2	30
実習対策ⅡB	演習	選択			2	30			2	30
子どものメディカルサポートA	講義	選択			1	15			1	15
子どものメディカルサポートB	講義	選択			1	15			1	15
入院中の子どものケアA	講義	選択			1	15			1	15
入院中の子どものケアB	講義	選択			1	15			1	15
キャリアゼミナールⅡA	講義	選択			2	30			2	30
キャリアゼミナールⅡB	講義	選択			2	30			2	30
医療事務A	講義	選択			3	45			3	45
医療事務B	講義	選択			3	45			3	45
子どもの事故A	講義	選択			2	30			2	30
子どもの事故B	講義	選択			2	30			2	30
カウンセリングA	講義	選択			1	15			1	15
カウンセリングB	講義	選択			1	15			1	15
教育実習Ⅰ	実習	選択			2	90			2	90
保育実習Ⅰ(保育所)	実習	選択			2	90			2	90
日本国憲法A	講義	選択			1	15			1	15
日本国憲法B	講義	選択			1	15			1	15
健康指導法A	講義	選択			1	15			1	15
健康指導法B	講義	選択			1	15			1	15
表現指導法A	講義	選択			1	15			1	15
表現指導法B	講義	選択			1	15			1	15
人間関係指導法A	講義	選択			1	15			1	15
人間関係指導法B	講義	選択			1	15			1	15
子ども家庭支援論A	講義	選択			1	15			1	15
子ども家庭支援論B	講義	選択			1	15			1	15
言葉	講義	選択			1	15			1	15
特別支援教育・保育概論A	講義	選択			1	15			1	15
特別支援教育・保育概論B	講義	選択			1	15			1	15
実習対策ⅢA	講義	選択			2	30			2	30
実習対策ⅢB	講義	選択			1	15			1	15
子どものプログラミングA	講義	選択			1	15			1	15
子どものプログラミングB	講義	選択			1	15			1	15
子どもの音楽ⅢA	実技	選択			1	30			1	30
子どもの音楽ⅢB	実技	選択			1	30			1	30
製作あそびA	実技	選択			1	30			1	30
製作あそびB	実技	選択			1	30			1	30
子どもの医療A	講義	選択			1	15			1	15
子どもの医療B	講義	選択			1	15			1	15
チャイルドプロデュースA	講義	必修			1	15			1	15
チャイルドプロデュースB	講義	必修			1	15			1	15
キャリアゼミナールⅢA	講義	選択			1	15			1	15
キャリアゼミナールⅢB	講義	選択			1	15			1	15
医療事務ⅡA	講義	選択			2	30			2	30
医療事務ⅡB	講義	選択			2	30			2	30
医事コン・電子カルテA	演習	選択			1	30			1	30
医事コン・電子カルテB	演習	選択			1	30			1	30
病児のあそびA	講義	選択			2	30			2	30
病児のあそびB	講義	選択			2	30			2	30
病児保育A	講義	選択			1	15			1	15
病児保育B	講義	選択			1	15			1	15
小児医療A	講義	選択			1	15			1	15
小児医療B	講義	選択			1	15			1	15
教育実習Ⅱ	実習	選択			2	90			2	90
保育実習Ⅱ(施設)	実習	選択			2	90			2	90
保育実習Ⅲ	実習	選択			2	90			2	90
保育実習Ⅳ	実習	選択			2	90			2	90
合計			44	810	49	900	50	1080	143	2790

※医療保育科の生徒が1年間に履修できる単位は、47単位までとする。

※医療保育科の卒業要件:93単位

別表 2-1-1 : 札幌医療秘書福祉専門学校 納付金
2024年度入学生まで

	入学検定料	入学金	授業料 (年間)	施設設備費 (年間)	教材実習費 その他 (年間)
医療事務科	20,000 円	100,000 円	640,000 円	180,000 円	130,000円～ 190,000 円
医療秘書科	20,000 円	100,000 円	640,000 円	180,000 円	140,000 円～ 160,000 円
診療情報管理士科	20,000 円	100,000 円	640,000 円	180,000 円	100,000 円～ 160,000 円
くすりアドバイザー科	20,000 円	100,000 円	640,000 円	180,000 円	100,000 円～ 160,000 円
介護福祉科	20,000 円	100,000 円	650,000 円	240,000 円	150,000 円～ 180,000 円
医療保育科	20,000 円	100,000 円	600,000 円	180,000 円	60,000 円～ 100,000 円
医療事務科	20,000 円	100,000 円	640,000 円	180,000 円	130,000円～ 190,000 円

※「教材実習費その他」は学年及び選択科目によって異なる。

別表 2-1-2 : 札幌医療秘書福祉専門学校 納付金
2025年度入学生より

	入学検定料	入学金	授業料 (年間)	施設設備費 (年間)	教材実習費 その他 (年間)
医療事務科	20,000 円	100,000 円	720,000 円	200,000 円	150,000 円～ 200,000 円
医療秘書科	20,000 円	100,000 円	720,000 円	200,000 円	140,000 円～ 200,000 円
診療情報管理士科	20,000 円	100,000 円	720,000 円	200,000 円	100,000 円～ 190,000 円
くすりアドバイザー科	20,000 円	100,000 円	720,000 円	200,000 円	100,000 円～ 160,000 円
介護福祉科	20,000 円	100,000 円	730,000 円	260,000 円	140,000 円～ 190,000 円
医療保育科	20,000 円	100,000 円	680,000 円	200,000 円	70,000 円～ 130,000 円

※「教材実習費その他」は学年及び選択科目によって異なる。

別表 2 - 2 : 札幌医療秘書福祉専門学校 卒業延期者納付金

	卒業延期者
施設設備費 (年間)	50,000 円
講義科目 (1 単位)	10,000 円
演習科目 (1 単位)	15,000 円
実技科目 (1 単位)	20,000 円
実習科目 (1 単位)	20,000 円

※教材費及び実習材料費等は必要に応じて別途徴収する。

別表 2 - 3 : 札幌医療秘書福祉専門学校 科目等履修生納付金

	科目等履修生
登録料 (年間)	30,000 円
講義科目 (1 単位)	10,000 円
演習科目 (1 単位)	15,000 円
実技科目 (1 単位)	20,000 円
実習科目 (1 単位)	20,000 円

※教材費及び実習材料費等は必要に応じて別途徴収する。

別表3 卒業証書

校印	年 月 日 学校法人 三幸学園 札幌医療秘書福祉専門学校 校長 ○ ○ ○	校印 年 月 日生	第 号 卒業証書 氏 名	割印
<p>右の者は本校専門課程医療秘書科 二年の所定の課程を修めたので 卒業証書を授与し、文部大臣告示 (平成六年文部省告示第八十四号)により、 専門士(商業実務専門課程)と称する ことを認める</p>				

校印	年 月 日 学校法人 三幸学園 札幌医療秘書福祉専門学校 校長 ○ ○ ○	校印 年 月 日生	第 号 卒業証書 氏 名	割印
<p>右の者は本校専門課程くすりアドバイザー科 二年の所定の課程を修めたので卒業証書を 授与し、文部大臣告示(平成六年文部省告示 第八十四号)により、専門士(商業実務専門 課程)と称することを認める</p>				

第 号
校印 卒業証書

校印

氏名
年 月 日生

右の者は本校専門課程介護福祉科
二年の所定の課程を修めたので
卒業証書を授与し、文部大臣告示
(平成六年文部省告示第八十四号)に
より、専門士(教育社会福祉専門課程)
と称することを認める

年 月 日

学校法人 三幸学園
札幌医療秘書福祉専門学校
校長 ○ ○ ○

校印

第 号
割印 卒業証書

校印

氏名
年 月 日生

右の者は本校専門課程医療事務科
一年の課程を卒業したことを証する

年 月 日

学校法人 三幸学園
札幌医療秘書福祉専門学校
校長 ○ ○ ○

校印

第	号	卒業証書	割印
校印	氏名	年 月 日生	
右の者は本校専門課程医療保育科 三年の所定の課程を修めたので卒業 証書を授与し、文部大臣告示（平成六年 文部省告示第八十四号）により、専門士 （教育社会福祉専門課程）と称すること を認める			
年 月 日	学校法人 三幸学園	札幌医療秘書福祉専門学校	校長 ○ ○ ○
校印			

第	号	卒業証書	割印
校印	氏名	年 月 日生	
右の者は本校専門課程診療情報管理士科 三年の所定の課程を修めたので卒業証書を 授与し、文部大臣告示（平成六年文部省 告示第八十四号）により、専門士（商業 実務専門課程）と称することを認める			
年 月 日	学校法人 三幸学園	札幌医療秘書福祉専門学校	校長 ○ ○ ○
校印			